

部活動における土日等の休養日・活動時間の実施状況について

◆調査期間 4月～2月(47週)

◆調査対象 ①県内公立中学校(84校) ②県内全日制高等学校(40校)

<土日等の休養日の実施状況について>

※休養日は、中学校・高校ともに原則として、週2日以上、平日1日と土曜日又は日曜日とする。

		平均日数	47日以上	46～42日	41～37日	36～32日	31日以下
運動部	中学校 (805部)	56.3日	706	89	8	2	0
			87.7%	11.1%	1.0%	0.2%	0.0%
	高校 (564部)	57.8日	434	60	36	20	14
			77.0%	10.6%	6.4%	3.5%	2.5%
文化部	中学校 (238部)	87.3日	230	7	1	0	0
			96.6%	2.9%	0.4%	0.0%	0.0%
	高校 (419部)	96.4日	412	5	2	0	0
			98.3%	1.2%	0.5%	0.0%	0.0%

- ・運動部では、中学校の約9割が、高校の約8割が47日以上の休養日を実施している。
- ・文化部では、中学校、高校ともに、ほとんどの部活動において、47日以上の休養日を実施している。

<活動時間について>

※通常練習における1日の活動時間は、平日は長くとも2時間程度、学校の休業日は長くとも3時間程度とする。

		平日平均	土日等 平均	通常練習	通常以外
運動部	中学校 (805部)	2.1時間	4.4時間	3.2時間	6.4時間
	高校 (564部)	2.2時間	4.2時間	3.2時間	6.6時間
文化部	中学校 (238部)	1.9時間	3.9時間	3.3時間	6.7時間
	高校 (419部)	1.9時間	3.8時間	3.3時間	5.8時間

※通常以外 … 大会、練習試合、合宿 など

- ・中学校・高校の運動部、文化部ともに、多忙化改善に向けた取組方針で、通常練習における1日の活動時間は、平日は長くとも2時間程度、学校の休業日は長くとも3時間程度とした設定どおりで概ね実施されている。

○中学校における部活動指導員配置校アンケート(H30.8月:44名配置38校)より

1 部活動指導員の配置の主な 効果（よかった点） （学校長：複数回答）	38校中（％）
・生徒に対し専門性の高い実技指導が行えた	36 94.7%
・当該部活動の効率的・効果的な指導につながった	31 81.6%
・顧問教員の時間外勤務の縮減につながった	28 73.7%
・顧問の指導力向上につながった	28 73.7%
・生徒や保護者に好評であった	19 50.0%
・大会等で成績が上がった	15 39.5%
2 部活動指導員の配置にあたっての主な 課題等 （学校長：複数回答）	38校中（％）
・勤務日や時間の調整の難しさ	28 73.7%
・必要とする部活動（競技）の指導者の確保	25 65.8%
・保護者対応に対する懸念	11 28.9%
・特に民間人材の単独引率への不安	10 26.3%
・急な勤務の変更による部活動の休止等	8 21.1%
3 部活動指導員配置した部活動 顧問教員の捉え方 （顧問教員聞き取り：複数回答）	38校中（％）
・担当業務、学年業務の時間の確保につながった	33 86.8%
・時間外勤務が減少し、負担が軽減した	26 68.4%
・授業準備の時間の確保につながった	24 63.2%
・生徒との面談など、生徒と関わる時間の確保につながった	20 52.6%
・部活動指導員との指導方針やスケジュールの調整などで負担感がある	7 18.4%
・指導時間が短くなり、顧問として生徒との信頼関係構築に不安を覚える	4 10.5%